

《教育・研修分科会（第2回）の結果報告》

1. アンケート調査の結果（速報）について

(1) 内容

速報値として中間的に取りまとめられたアンケート調査結果を踏まえながら教育テキストに要求される記述のイメージを検討した。

(2) 検討結果

- ・アンケートの回答者は、おそらく本社の環境安全担当の方が答えていると推測され、無難な回答になっているのではないかと。
- ・全国的に防災要員の教育訓練には、どのような研修機関を使われているのか。
- ・全国の消防学校や消防本部で防災要員の教育訓練が実施されているのか。

(3) 今後に向けて

- ・防災要員の研修体制については、2年目も検討する予定であり、その際に消防学校及び消防本部に調査をすることは可能である。

2. 標準的な教育テキストの活用方法及び教育・研修体制のあり方について

(1) 内容

速報値として中間的に取りまとめられたアンケート調査結果を踏まえながら教育テキストの活用方法を検討した。

(2) 検討結果

- ・全国には様々な研修機関がある。テキストを標準化するには、かなり時間がかかるが、完成したテキストは、それらの研修機関が参考にしたり、使用できるものを目指すのが望ましい。

3. 標準的な教育テキスト（中間素案）の確認について

(1) 検討結果

- ・消防学校の初任科テキストには、各節の冒頭に到達目標が記載されており、テキストにも防災要員が理解しやすいよう、各節の冒頭に到達目標を記載する。
- ・防災要員が建物火災の際、屋内進入をするかについては、自衛防災組織の装備資機材及び消防団の動向から判断すると、常備消防のイメージする屋内進入は難しいと考えられる。
- ・燃焼の要素については、不触媒効果や抑制効果のある消火剤があることから、テキストに記載する燃焼の要素は4要素とする。
- ・高圧ガス施設で起こる火災は、高圧ガスが自然界に存在しないため、高圧ガス設備火災ではなく高圧ガス火災で統一する。
- ・BLEVEは可燃性ガスだけでなく水でも発生するため、蒸気雲爆発とは異なるものであり、BLEVEとファイヤーボールもテキスト内で明確に書き分ける必要がある。
- ・現在のテキスト（中間素案）に法令関係の章立てはないが、事務局で序章（案）を作成し、今後、テキストに追記するか検討する。
- ・海洋汚染事故に関する節を新たに設けた。